

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
14年10月27日

自民党元市会議員の会員が応援演説

二十日の集会に九十八名が参加しました。参加した元市議は「篠田市長は合併前の約束を守らず、やりたい放題。まわりは誰もなにも言えない裸の王様」「自分も頑張る。斎藤候補を当選させるために投票箱が閉まるまで支持を広げよう」と熱烈な訴えをしました。

その後、斎藤裕候補がテレビ収録の様子などから次のように話しました。

篠田市長は意に沿わないと怒り出す異様 吉田候補は自分で「影が薄い」

u xテレビが候補三人の討論会を収録しました。BRT（連節バス）について見解を求められると、篠田市長は「なんでそんなことを取り上げるんだ」とばかりにアナウンサーに怒りだし異常さ。篠田市長が保育所の待機児童はいないとしていることについて「実際はそうじゃない」というお母さんが登場するとまた「こんなもの使うのか」と怒り出す。市民の声を聞かない姿勢は明らか。

吉田候補は私と篠田市長の討論にはいれず自ら「私は影が薄い」と言い出しました。

BRTは契約したても止められる

違約金をはらってもまたバスを売ることのできる、事業を続けるよりずっとムダは少ない。産業政策も中小業者の声を聞いてしっかりとよりたい。税金の徴収のしかたも市民の相談にのりながらやらないとダメ。債権管理課はな

斎藤裕弁護士を市長に！消費税10%反対！学習決起集会



くてもいい。

日程

- 一〇月二〇日 市長選 さいとう候補街頭演説
- 一二時一五分 万代シティ
- 一〇月二〇日 市産業政策課交渉
- 十一月 四日 大腸ガン検診持参日

頑張る民商

三郷民商
広瀬富治会長

に学ぶ

消費税署名と商工新聞中心の活動

十月二十日（月）斎藤裕弁護士市長選候補の決起集会と併せて、全商連総会で発言された三郷民商の広瀬富治会長を招いて署名等の取り組みをお伺いしました。

一、署名運動の取り組みについて

もはや社会保障や財政危機など増税の口実は詐欺にも等しい悪宣伝でしかありません。広範な国民に徹底して知らせ十％への増税を断固阻止する世論と運動で安倍政権を包囲しましょう。

三郷民商では昨年の参議院選挙では、一会員二十署名という目標を設定し、大きな前進を成し遂げました。それにはまず、役員会で繰り返し討議を重ね以下の構えをつくった。

署名は権利・憲法十六条で保障されている請願権
疑問や否定的意見について

署名は力になるのか・・・十七年間増税を阻止してきた国民の意思。（財界からは毎年一％あげろという圧力）
また署名ですか？というまたか論・・・国会の度に持つて行くことが重要、持っていないとあきらめたと判断されてしまう。

署名と組織問題・・・署名は全会員運動、みんなで運動することで組織が強くなる。三郷民商では支部会はもちろん班会で消費税の学習会を行い、署名活動を読者にまで広げて協力を仰いでいる。

二、読者を大切に「商工新聞中心」の活動について
商工新聞読者は民商運動を最も理解してくれている仲間・準会員と位置付け、日帰りバスツアー等の様々なイベントへの参加を通じ拡大行動に繋げている。

その他にも色々なお話をして頂き大変勉強になりました。新潟民商でも同じような取組みはしていますが、支部によっては役員までで止まってしまっているように思えます、今後は会員一人一人や読者まで輪を広げ運動し、三郷民商に追いつけ追い越せで頑張らしましょう。

全婦協第三十回定期総会

10月18日(土)・19日(日)、大阪市にて第30回定期総会が開催されました。新潟県からは、8名の代表が参加、新潟民商からは、高橋キミ子副部長と渡部修子副部長と長谷川事務局の3名が参加しました。

1日目は全体会があり、「税務調査から知って経験することが大事」「福島・石巻に視察に行ったこと」「全自治体に所得税法56条廃止の意見書を提出したこと」など10名の方から代表発言がありました。

2日目は、十八の分散会に分かれ「世代交代がなかなか進まず、若い人から参加



してもらうためにネイルアートやクリスマスリースなどの楽しい行事をしている」「廃業が多く、部員も多くやめるし、役員もやめて元気がない」「多くの部員に参加してもらうためにも、その人にあった行事に声を掛けている」などの話がありました。



拡大表彰では、新潟県婦協で会員比4割の表彰をうけました。

ご協力ありがとうございました。



青年部で報告会

全国業者青年交流会

先月、福井県で行われた「全国業者青年交流会」の報告会が行われました。交流会の最初に行われたパネルディスカッションの話から始まりました。パネラーの龍泉刃物社長の増谷さん、松原蝶製作所の松原さんの仕事に対する姿勢で「依頼者が納得いくまで試行錯誤する」「求められたことだけではなく、こちらからも提案し、よりよい物を作る」といったことが売上を伸ばした結果だと言うことを話しました。分科会の話では、名刺交換のマナーや、相手の話しの聞き方やビジネスの基本を話し合いました。他にはチラシ作成について、仲間の意見を参考にすることが効果的であること、民商の役員作りや融資について話し合いました。



温泉でのびのび共済会学習会を開催

白根支部

十月十九日(日)八木ヶ鼻温泉にて共済会学習会を開催しました。午前十時集合で十三名の会員さんが参加しました。快晴に恵まれてのバスツアーとなり車中での会話はずみ十一時過ぎに現地に着着。

早速、学習会を開始しました。学習会の内容は「共済会学習リーフの読み合わせ」「Q&A十五問の読み合わせ」を行いました。

参加会員さんからの質問に役員さんが答えるなど終始にこやかな雰囲気で行いました。

その後、温泉の入浴タイムを取り、お待ちかねの懇親会へ。食べきれないくらいのおいしい料理で話しも弾み、楽しい時間を過ごしました。帰りのバスでは来年の行先の話が出るなど、有意義な一日をなりました。

